

浜通り Hamadōri

浜通りは
漁業の町として
栄えた焼津の、いわば
おっかさんのような通りです。
浜通りをこよなく愛する「浜の会」は
おっかさん孝行の気持ちを含めて
この地図を作りました。
狭い狭い路地が特徴の浜通りですので
ここに暮らす方々の生活を御配慮の上、
どうぞ浜通り散策をお楽しみください。

平成18年10月現在
—青森県明浜43年当時の
海岸線と石積み堤防跡



船玉浦神社
通称「おっかさん」
江戸末期ごろ手作り
されていた大きな
「四つ目いかり」が
あります



—浜の会



小泉八重風詠の地
10 昭和59年に市役所前
からお引越し

お菓子の 関カネデン
近藤商店
お菓子の
お菓子の

しの 鮎の
マルイ水産



護国寺天宮
(光信寺跡)
14

なまり筋の
ササヨ
浜言葉も 蓮子会
会長長谷川実吉さん
のお宅

昭和橋

万世橋

天野重太郎商店
八重滞在の家跡
11

江川 邸跡
エンカ
迎船間屋だた「エンカさん
恩恵の年は一帯の
住民を助けた
そうです

歴史民族資料館
焼津小泉八重
記念館

旧日和橋の跡が今もある
江川橋

割烹 木村 徳流亭
味胆 漱石庵 (菓子物)
兼 斎 流石
昔の浜通りを写した本が
見られます
エンカさんが作った寺小屋
(焼津市立東小学校の前身) 跡

ちやます

常照寺
15
6cmほど
毎年2月3日
御開帳

なまり筋の
ぬかや 斎藤商店
塩柱や煮餅の餅子が
ぶつかる程など
見所いっぱい
通りから川まで 徒歩100m
長一いお宅が 数軒と並ぶ
100m!

中橋

桜橋

ナンバン小路
八重が泳ぎに
通じた小路



北のオヤスミヤン
ヤマトケルが
上陸したといわれる

カフェ いわさき

八重の小説
「漂流」のモデル
甚助が住ん
だ家
13

波除ノ電地蔵尊
二代目
八重が大事にしたことで
有名。初代は 小川の
光心寺さんに

焼津切身

山口翁感恩の碑
高潮から住民を守り続けた
旧堤防警備の
中心人物 山口平右衛門
さんを称えた碑

塩年の 関カネオ
石橋商店
塩年 量り売りも
2F 海を見ながら

